

キリストのからだの建造のために集会し奉仕する聖書的な道

聖書：ローマ 15:16. ヘブル 10:24-25. エペソ 4:11-16. I コリント 14:4 後半, 31.

II コリント 4:16. ヨハネ 21:15-17

I. わたしたちは、キリストのからだの建造のために集会し奉仕する聖書的な道に関して、主から受けた光と啓示についての重点を見て、実行しなければなりません：

- A. わたしたちは、福音の祭司として機能して、人を訪問することによって福音を宣べ伝え、人を救わなければなりません——ローマ 15:16. ルカ 10:1-6。
- B. わたしたちは、新しい信者の家で集会し、彼らを養い、はぐくまなければなりません。それは、わたしたちの実が残るためです——使徒 5:42. ヨハネ 15:16。
- C. わたしたちは、バイタルグループの集会を通して聖徒たちを教え、成就し、その務めの新約の働きへと、キリストのからだの建造へと至らせなければなりません——ヘブル 10:24-25. エペソ 4:11-12 :
 1. バイタルグループの集会で、信者たちは互いに交わり、とりなしをし、互いに顧み、牧養し、互いに真理を教え、学び、霊的な命の成長を追い求めることで互いに導く必要があります。そして、福音を宣べ伝えること、新しい人を顧みること、小組の集会を行なうこと、召会生活においてあらゆる種類の奉仕をすることを推し進める必要があります。
 2. バイタルグループの集会は、召会の生活と奉仕との主要な部分です。
- D. わたしたちは、聖徒たちが召会の集会で預言することを追い求め、願い、主のために語り、主を語り出し、主を互いに供給し、相互性の中で互いに語り、聞くように導いて、聖徒たちと召会を建造しなければなりません——I コリント 14:1, 3-5 :
 1. このように預言することは、あらゆる信者ができることであり、またすべきことです—— 31, 24 節。
 2. 召会を建造するためにこのように預言することは、すべての賜物の中で最も卓越したものであり、I コリント第 14 章で使徒パウロによって強く勧められています—— 12, 39 節。
- E. 召会は、手順を経た三一の神によって彼の神聖な三一の中で生み出された、神と人とのミングリングである有機体です——エペソ 1:3-14, 19-23 :
 1. この有機体の構成は、有機的であって、組織的ではありません—— 23 節。
 2. この有機体の建造は、神の命の成長を通してであって、人の手の働きによるものではありません—— 4:16。
 3. この有機体は、神の命の中で一であって、いかなる区別や分離もあり得ません—— 4 節前半。
 4. この有機体のすべての活動は、その中で働く命によって導かれ、推し進められます—— 30 節。
- F. エペソ第 4 章 11 節から 16 節の啓示は、回復されなければなりません :
 1. 賜物のある人がすべての聖徒を成就するのは、すべての聖徒が新約の務めの働きを行なって、キリストのからだを建造するためです—— 12 節。

2. 賜物のある人は、キリストのからだの中の供給の節です。成就された聖徒たちは、キリストのからだの中のそれ自身の度量に応じた活動をする「それぞれの部分」です—— 16 節前半。
3. 供給する者としての賜物のある人は、キリストのからだを結び付ける骨組みを形成します。機能するそれぞれの肢体は、からだの中の内容である構成要素となります。両者が一緒になって、からだは調和され、組み合わせられ、共に建造されます—— 16 節後半。

G. I コリント第 14 章の啓示も、エペソ第 4 章 11 節から 16 節の啓示に続いて、回復されなければなりません：

1. 賜物のある人によって成就された聖徒は、預言することを追い求め、願い、主のために語り、主を語り出し、主を互いに供給すべきです。それは召会が建造されるためです—— I コリント 14:1, 3-5。
2. このように預言することは、召会を建造するためであり、また他のすべての賜物にまさっており、相互性の中で語り、聞くことです—— 12, 24, 31 節。
3. このように預言することは、相互性の中で語ることに満ちており、キリストのからだの各肢体の霊的で有機的な機能を啓発し、召会を成就し、建造します—— 4 節後半。参照、マタイ 16:18。

H. わたしたちは主と一になり、主と協力して、新約の福音の祭司の体系を回復しなければなりません——ローマ 15:16：

1. 神によって救われた新約のすべての信者は祭司であり、共に普遍的な祭司の体系となります——啓 1:5 後半-6. 5:9-10. I ペテロ 2:5, 9。
2. 新約の祭司の主要な職務は、福音を宣べ伝えて、罪人が救われるように導き、彼らを霊のいけにえとしてささげることです。こういうわけで、彼らは福音の祭司と呼ばれます—— 9, 5 節。ローマ 15:16。
3. バイタルグループの集会においてであれ、召会の集会で預言することにおいてであれ、人々を訪問して福音を宣べ伝えることにおいてであれ、新しい人たちを顧みることにおいてであれ、原則は同じです。その原則は、わたしたちがすべての聖徒をキリストのからだの肢体とやらせて、あらゆる人を働かせ、あらゆる人を自分の度量にしたがって機能させ、キリストの有機的なからだを建造しなければならないということです。

II. わたしたちは、キリストのからだを建造するために集会し奉仕する聖書的な道を実行するために、復興された生活を持つ必要があります、また主に対するわたしたちの愛から流れ出る牧養の労苦を持つ必要があります：

A. わたしたちの語っている復興とは、II コリント第 4 章 16 節で描写されている、新しくされることです。毎日、わたしたちは更新を必要とします。そして、この更新は、日ごとに新鮮にされなければなりません：

1. 毎朝わたしたちは、わたしたちの太陽である主イエスに、わたしたちの中で昇っていただくべきです。それは、わたしたちが新しくされることのできるためです——ルカ 1:78-79. マラキ 4:2. 士 5:31。
2. この事を達成するために、わたしたちはみな朝早く起きて、主と交わりを持つべ

きです。わたしたちは主に対して次のように祈るべきです、「主よ、新しい開始を感謝します。どうかこの日が、わたしの人生において記念すべき日となりますように」。これが、わたしたちが朝ごとの復興と呼ぶものです。

3. 毎朝わたしたちは、キリストがわたしたちの罪のためのささげ物であることに基づいて、キリストをわたしたちの全焼のささげ物また平安のささげ物としてささげて、新しい開始を持つべきです。わたしたちは、この事を毎日行なわなければならないだけでなく、この事を甘さをもって、また深みをもって行なわなければならない—レビ 6:12-13。
 4. 日ごとに新しくされる復興を持つことは、日ごとに新鮮である造り変えを持つことです。もしわたしたちが全生涯にわたってこのような造り変えの中にとどまるなら、わたしたちは主の命の中で成長して、ついには円熟するようになります—ローマ 12:2. II コリント 3:18。
- B. わたしたちは勝利の生活をして、主に対するわたしたちの愛から、わたしたちの持っているすべてを主にささげ、また力を尽くしてあらゆる時間を贖い取って、人々と接触し、彼らを牧養し成就する必要があります—ヨハネ 21:15-17. I ペテロ 5:1-4 :
1. わたしたちは、だれかが病気であったり、だれかが問題に遭遇しているのを聞いたらすぐに、彼に対して関心を持ち、彼のために祈り、彼を訪問しに行かなければなりません。このように少し関心を持ち、祈り、訪問することが与える効果は、十のメッセージよりもはるかに大きいです。
 2. もしわたしたちが主に対して心を持っているなら、今から毎日わたしたちは復興を持ち、勝利の生活をし、あらゆるものを主のためにささげ、力を尽くしてあらゆる時間を贖い取って、一人ずつ人々を顧みるべきです。
 3. わたしたちが牧養するときに行なうべきもう一つの重要な事は、集会の前と後に人々と接触することです。
- C. こうすることによってのみ、エペソ第 4 章 11 節から 16 節におけるキリストのからだの有機的な建造と、I コリント第 4 章 26 節における相互性の集会は、わたしたちの間で実現され、実行されるようになります。このためにわたしたちは、「毎朝復興、日々勝利」を基礎として持つ必要があります。わたしたちはまた、主に対するわたしたちの愛から流れ出る生活と働き（復興された生活と牧養の労苦）を持って、わたしたちの勝利を維持する必要があります。